



伊深まちづくり協議会だより

今号の内容

・協議会の動き	1
・各活動グループの動き	2
・地域のトピックス	2
・生き生き伊深人（森 昭和さん）	3
・巻末雑感（篠田 洋さん）	4

ホームページアドレス: <http://ibukamachi.com>

(左: ネムノキ 大洞で)

■ 協議会の動き

各活動グループの計画・予算を承認し、活動具体化へ前進

5月、6月の定例会では主に以下のことが協議・決定されました。

■ 協議会の構成等

- 連携団体として新たに「伊深商工会」、「伊深視聴覚教育」が加わることになり、それぞれの代表者である、長谷部雅彦さん、平田芳昭さんが委員に参加されることになりました。
- 活動グループとして新たに「保育園畑作体験支援 G」（大矢伸司代表）「環境美化 G」（井上美恵子代表）が加わり、「伊深小学校田支援 G」は名称を「伊深小稲作体験学習支援 G」と変更しました。

■ H25 年度予算案

- 収入： 繰越金 126、市からの助成金 220（事務費 20 含む）、販売代金 30、参加費 100、計 476 千円
- 支出： 共通経費 59、グループ活動費 330、予備費 87、計 476 千円

■ 当面の活動計画について

- 【コミュニティ施設建設に向けた検討について】 まち協委員だけでなく有識者も含めた対策委員を早急に組織し、利用者からの意見も聴取しながら計画を煮詰める方向を確認しました。
- 【子供の居場所づくりについて】 継続実施し、若干の材料費を支出する計画です。
- 【小学校稲作体験支援について】 水の管理や担い手、管理の範囲をどうするかなどについて種々意見がありましたが、休耕田活用の面も重視し、昨年どおり 4 枚の田の作付管理を行い、秋には収穫・餅つきを体験してもらう計画となりました。
- 【標柱づくりについて】 中断した形になっ

ていますが、秋口をめどに設置作業を進める計画です。

- 【保育園畑作体験支援について】 いちご、じゃが芋、豆、秋野菜（作物は未定）などの作付・収穫を順次行い、園児に伊深らしく楽しい体験をしてもらう計画です。若干の材料費支出を予定しています。
- 【里山対策について】 秋冬に里山整備・竹林対策の講習等を計画しており、具体策は改めて提案する予定です。
- 【絵葉書づくりについて】 当面在庫があるため、販売・PR に努める計画です。
- 【環境美化について】 短大下の花壇整備を行い、これに必要な苗代の支出を予定しています。（その他）
- 【保育園の統合について】 現在、父兄へのアンケートが実施されており、その結果も注目しながら、応援できることはしていくことになりました。
- 【合同サロンの実施について】 10.22 に伊深地区 4 サロンが合同で行事を行うことになり、まち協としても経費・手間面で支援することになりました。
- 【大平山の山名表示を働きかけていくことについて】 地域からの関連意見は特に寄せられませんが、まち協定例会では賛同する意見が多くあったため、市へ働きかけていくことになりました。
- 【有害生物の駆除について】 河川での“オヤニラミ”（魚）や遊休地等での“オオキンケイギク”（植物）の繁殖拡大が報告されており、駆除の呼び掛けを強める必要があるのではという意見がありました。

■ 各活動グループの動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。
(代表者の敬称略)

子どもの居場所づくりグループ 代表：佐野 綾目

- 5月中旬には各種野菜苗を植えました。
- 6月には「麦刈り」を行い、乾燥しました。

小学校稲作体験支援グループ 代表：佐野 綾目

- 5年生の校外授業として、6月5日に田植えを行いました。隣の田んぼも併せて植えました。



- 6月13日には「じゃが芋掘り」を体験しました。



- 6月25日には節分に使う豆などの種まきをしました。



保育園畑作体験支援グループ 代表：大矢 伸司

- 5月8日から約1月間、「いちごの収穫」を楽しみました。



環境美化グループ 代表：井上美恵子

- 今年度から自主団体「れんげ会」の皆さんが、新たに「環境美化グループ」として協議会に参加され、5月3日、6月2日の両日、短大下の花壇整備に汗を流されました。



セタ

※その他のグループは大きな動きはありませんでした。

■ 地域のトピックス

地域内での最近のトピックスを紹介します

5.11 「ウォークみのかも・伊深コース」が行われました

コースは伊深小(スタート)～本郷～牛牧(ねこぎぎ橋・折り返し)～創造の森～正眼寺境内～伊深小(ゴール)までを1周する約6kmで、地元からの参加者を含む約40人が参加されました。あいにくの雨でしたが、新緑の木々のあいだを歩くコースとあって5月らしい季節を感じるウォーキングとなりました。



5.19 伊深町ソフトバレーボール大会が行われ、亀淵Aチームが優勝

各自治会から10チームが参加、3ブロックに分かれて各2試合を行ったあと、それぞれの第1位通過チームで優勝決定戦が行われました。決定戦に進んだのは亀淵A、上切A、関也Aで、順位はリーグ戦を「60(4セット)－1」と圧倒的な戦績で勝ち進んだ亀淵Aが優勝、そのチームを最後はフルセットにまで追い込んだ上切Aが準優勝、関也Aは3位となりました。



5.22 小水力発電設置に先立ち、伊深小児童が自治会館前の池ざらえを行いました

伊深自治会館前(天王用水)の小水力発電施設の設置工事に先立ち、伊深小の1・2年生児童が生活科の授業の一環として「池ざらえ」を行いました。時間中に捕獲されたのは赤い金魚6匹、黒い出目金1匹、ザリガニ約10匹、川エビ数匹、その他川魚の稚魚などで、金魚・出目金は工事中、伊深小の水槽で飼育されることになり、その他は天王用水へ戻されました。



6.23 伊深町ソフトボール大会が行われ、親善を深めました

当初4チームの予定を変更し、2チーム+体育委員チームで親善試合が行われました。結果は第1試合が「関也・本郷」×「大洞・上切・野地糠亀」22:8、第2試合が「大洞・上切・野地糠亀」×「体育委員」13:10でした。



生き活き 伊深人

地域内で生き活きと活躍されている伊深人を紹介します

第2回

森 昭 和さん

もり あきかず

下本郷/昭和8年
生まれ/80歳



Q 今年ちょうど80歳で、退職されてから20年になられるんですね。ここまで生きられるとは正直思っていませんでした。というのは53歳の時に胃の全摘手術を受けましたから。まだ関市役所へ勤めているときで、それからもう30年近くたちます。

Q 最初から関市役所へ就職されたんですか？
いえ、最初は教職に就いたんです。通算6年ほどで、最後は関の旭中で国語と体育の担当でした。

その後行政職に転じて定年まで30年以上勤めたんです。

Q 体育も担任されたんですか？ バレーや野球なんかは好きでよくやりましたよ。

Q 退職後の公職は？ 固定資産評価委員や選挙管理委員、それと民生委員は9年間つとめました。今は保育園の第三者委員だけです。

Q 民生委員9年とは長いことお疲れ様でしたね。いろんな事情で高齢者のお世話ができない家庭があって、連日のように訪問したこともありましたが、訪ねていくと、「こうしてくれ」「ああしてくれ」とまるで小間使いのように世話を頼まれることもありました。

Q 伊深のふれあいサロンの立ち上げに尽力されたとお聞きしましたが？ 下本郷のサロンを平成14年に立ち上げ、その後、他地区についてもお手伝いしました。まだ市内でも早いほうでした。

Q 立ち上げただけでなく、それから10年以上も継続されているところが大変だと思いますが、その原動力はどこにあるのでしょうか？ 始めた以上続けられないといけない、という責任感みたいなもの、それとやはり、家にいても話し相手がない高齢者がサロンに来て、いろんな話ができることを喜んでもらえること、それに尽きるんじゃないでしょうか。

Q 今の個人的な楽しみというとはどんなことですか？ 今は体重が40kgで体力もないので外の仕事はダメですが、ヒマさえあれば本を読んでいますね。どんな分野ということなく、いろんな本をです。

Q 当面のテーマはどんなことですか？ 今年10月に伊深の4つのサロンが合同で行事をやることになっていて、その運営がうまくいくようにしたいですね。送迎なんかの問題でね。津軽三味線を頼んでいるので、少しでも多くの人に見に来てもらいたいと思っています。

(*細身の体がしゃんとしておられ、生活態度もそのようにしゃんとおられると確信できる森さんでした=取材者)

オオキンケイギクは見つけたら駆除しましょう

～現在は、家庭での栽培も禁止されています～

「オオキンケイギク」は生態系などに悪影響をもたらす侵略的外来種として特定外来生物に指定され、栽培、保管、運搬などが原則禁止されていますが、今でも伊深地区内でときどき見かけることがあります。見つけた場合は早急に駆除しましょう。

●自宅での駆除方法は、次のとおりです。

「根っこから引き抜き、枯れるまでその場においておきます。枯れたら、可燃ゴミで処分します」(市HPより)

●オオキンケイギクとよく似た花との比較



▲オオキンケイギク



▲ハルシャギク

※詳しいことは伊深連絡所へご相談ください。

●巻末雑感●

※住民の皆さまからの投稿を歓迎します。

ごあいさつ

伊深まちづくり協議会 会長 篠田 洋

野山が緑色の新緑の季節となりました。

伊深町民の皆様方には、ご健勝にてお過ごしとご推察いたします。

さて、このたび「伊深まちづくり協議会」の会長の大役を引き受け、3ヶ月が過ぎようとしています。

2010年～2019年美濃加茂市第5次総合計画(まあるいまち みのかも)が策定され、「伊深まちづくり協議会」が発足しました。

伊深地区みんなでつくる将来の伊深地域の姿の実現をめざし、「みんなで築こう希望と安心のまち 伊深」を合言葉にまちづくりを進めています。

本年度は、「子供の居場所づくり」「伊深の里の標柱づくり」「絵葉書づくり」「小学校稲作体験学習」「保育園畑作体験」「里山対策」「環境美化」の7グループの活動を継続し進めています。

無能、浅学の私ですが、役員の皆様のご協力を仰ぎ、微力ですが、「自分たちの町は、自分たちでよくしてゆこう」を目標に活動に取り組んでいきたいと思っております。地域の皆様のご協力をお願い致します。